



紙芝居は、演じるのも楽しい！

～わくわくする紙芝居の世界へようこそ！～

「紙芝居は、観るのも楽しいけれど、演じるのも楽しい」。

プロ講師からも学びながら、紙芝居の世界の奥深さを八王子市のさまざまな場所に届けています。

今回は、そんな「わくわく紙芝居サークル」の活動をご紹介します。



わくわく紙芝居サークルの活動は、保育園や子育て広場、学童保育所、デイサービスなど、八王子市内10ヶ所において、毎月または隔月で定期的に公演を行っています。



イベントやお祭りなど、依頼を受けて出張公演を行っています。問い合わせも頻繁にあるのだとか！



定期的に、プロの実演家（写真：菊池好江さん）の講習会を行っています。実技の指導もしていただけます。



毎月、会員勉強会を実施し、演じ方の練習や情報交換を行っています。現在、30歳代から70歳代の会員が、楽しく活動をしています。

紙芝居を動画でご覧いただけます！

右のQRコードを、スマートフォンやタブレット端末などで読み込むと、わくわく紙芝居サークルの実演をご覧いただけます。

上演作品『ふみきりくんのともだち』（脚本・絵 佐藤まもる）



間口は広いけど奥が深い

「わくわく紙芝居サークル」（鶴島明子代表・会員 40 名）は会発足から 18 年。八王子市内で紙芝居活動草分けの団体として知られています。同サークルは、2002 年秋に行われた八王子市公民館主催（当時）の紙芝居講座（3 回講座）の受講生が中心となり、翌 03 年 1 月に立ち上げました。サークルの紙芝居指導を発足時から担当しているのは、先記講座を担当した菊池好江さん（所属：紙芝居を演じる会「ひょうしぎ」/子どもの文化研究所）です。このたびはサークルの役員 4 人、鶴島明子さん、山崎睦美さん、竹井由美子さん、鶴岡みどりさんにお話を伺いました。

お互い、妊婦友だち、保育園や学校の図書ボランティアなど、それぞれの場所で知り合った人たちが、「紙芝居」でつながりました。鶴島さんは、「活動を通して知り合った人たちのおかげで、自分の世界が広がりました」と笑顔を向けます。

発足後半年ほどは、月 2 回各々紙芝居を持ち寄って勉強会を行ったり、二か月に一度は菊池さんの指導を受けたりしていましたが、子どもが通っている保育園に「（紙芝居を）やらせてください」と直談判するなど、実践活動にも踏み出していきました。07 年、08 年には八王子市市民企画事業の補助金を受け、リーフレットを作成し、連続紙芝居講座を企画、開催。8 名だった会員が 26 名に急増しました。以後、出張公演依頼も増えて、会員お手製の揃いのはっぴで演じています。「子育てひろば」2、保育園 1、学童保育 2、高齢者施設 6 力所の定期公演（現在、コロナ禍で休止中）に加え、オトパ（※お父さんお帰りのパーティー）や消費生活フェスティバル、古本まつり、防災フェスティバルや生涯学習フェスティバルなどのイベントにも参加して実績を積んできました。

竹井さんは「実は紙芝居は苦手だった」と打ち明けます。「絵本」は「読む」のですが、「紙芝居」は「演じる」という相違があり、人前でのパフォーマンスが難しいと感じていたそうですが、今ではそういう苦手感など全く感じさせない堂々の演じっぷりです。

一方、もともとお芝居が好きだった鶴岡さんは、「演じることのおもしろさ」にハマり、なんと自宅には 5~6000 冊の紙芝居があるのだとか。「戦前の紙芝居も含め幅広く所蔵しています」とのこと。山崎さんは活動を振り返り、演じた時の皆の「反応」が面白いと話します。



紙芝居を実演する鶴島明子さん

紙芝居の良さを伝えたい

学童で継続して観てもらっていると、「自分たちもやってみてみたい」という子も現れました。子どもたちの手作り紙芝居を作ってくれたこともあるそうです。「最初は走り回るなど落ち着かなかった子も、やがて一生懸命、聴くようになりました」

鶴島さんは、会発足後、最初に参加した「全国紙芝居まつり」で、絵本・紙芝居作家の諸橋精光さんの超大型紙芝居を観た時の感動を熱く語ってくれました。ごぼごぼと海に沈む場面では「自分も一緒に沈んであたかも海の中にいるような不思議な感覚」になり、画と語りと鳴り物が一体となって「自分もお話の世界に入り込んだ」という三位一体感が衝撃的だったとのこと。こういう“一体感”がライブの醍醐味ですが、鶴島さんは「ある域を超えないと経験できない境地。私はまだ数回しか体験していません」とその奥深さを語ります。

紙芝居は一般的には「子ども向け」と思われていることが多いですが、大人向けの作品もたくさんあり、種類もとても豊富。4 人とも「作品の良さを伝えたい」と口を揃えます。ただ、今回のコロナ禍で“伝える場”が乏しくなったので、出版社等の許可が取れた作品の実演動画を DVD 化して貸し出しをしようと考えているそうです。「近日中には皆さんにお届けできると思います」

紙芝居は誰でも始められる魅力の活動ですが「間口は広いけど奥が深い」と言われています。皆さんも、その奥深さにふれてみませんか？

わくわく紙芝居サークル 基本情報



わくわく紙芝居サークルの皆さん。(左から) 鶴岡みどりさん、鶴島明子さん、山崎睦美さん、竹井由美子さん

●活動内容

- ①赤ちゃんからお年寄りまでを対象に、八王子市内で紙芝居の定期公演をしています。
- ②依頼があれば（どこへでも！？）出張公演いたします。
- ③毎月会員同士の勉強会の他、定期的にプロの講師を招いて実演会、実技講習を開催しています。

●会費：年会費 2400 円（月会費 200 円）

●お問い合わせ：a_turusima@yahoo.co.jp（代表・鶴島）



← はちコミねっこの団体ページはここから

センター長
岡崎 理香 です



この市民活動支援センターが、市民や団体の皆さんにとってより親しみやすく利用しやすい施設となるように、そして市民活動・地域活動のプラットフォームとして多くの方々のケミストリーの間になるように、スタッフみんなで取り組んでまいります。猫好き、人好き、甘味好きです。

副センター長
浜野 悦博 です



昨年度はコロナ禍で迷い道に入り込み、それでも試行錯誤する毎日でしたが、新年度となり、進めていく手がかりがどこかにあるようにも感じています。非営利活動やマネジメントを生涯のテーマとしたピーター・ドラッカーの「変化はチャンスである」という言葉を胸に、今年もいろいろなことにトライしていきます。

八王子市市民活動支援センター八王子

新 スタッフ紹介

大村 厚夫 です



美術館めぐり、街歩き、そして犬と猫が好きです。人生を豊かなものにしてくれる様々な活動を、八王子市民の皆様と一緒に推進していきたいと思っております。

ちからいし
カ石 マルシア です



音楽、ダンス、読書&お喋りが大好きです。コロナ禍に負けない八王子の市民活動を皆さまと一緒に盛り上げられるように頑張りたいと思っております。

鈴木 佐登美 です



イベントのチラシ作り、仮設店舗の看板や小物作りなどが好きなので皆様の活動のお手伝いが出来ればうれしいです。

望月 香里 です



皆さまの活動がより一層広がっていくように、微力ながらお手伝いできるように頑張っていきたいと思っております。



八王子市市民活動支援センター
 〒192-0083 八王子市旭町1-2番1号フルマビル5階
 npo802@shiencenter-hachioji.org
 TEL 042-646-1577 FAX 042-646-1587

https://www.shiencenter-hachioji.org/
 八王子市民活動支援センター 広報「はちこみねっと」
 http://hachikomigenki365.net/

開館時間 10時～21時 日・祝は17時まで
 休館日 月曜日 祝日の場合は翌火曜日
 指定管理者 特定非営利活動法人八王子市市民活動協議会



NPO・市民活動イベント情報

詳細は、各団体にお問合せいただくか、はちこみねっとのサイトをご覧ください

(参加費=参、定員=定、対象=対)

イベント	日時	会場	内容	主催	申込先	備考
EA 八王子グループミーティング	5/8(土)、5/15(土) 5/22(土)、5/29(土) 6/5(土)、6/12(土) 6/19(土)、6/26(土) 13:15～14:45	クリエイイトホール (八王子市東町5番6号)	「アルコールクス・アノニマス」の回復プログラムを、感情・情緒の問題に用いたミーティング	EA 八王子グループ 	当日直接会場にお越しください。	参：無料 予約不要 定：15名程度
ひきこもり当事者やそのご家族のための交流&居場所「ぶなの樹」	5/24(月) 6/28(月) 13:00～16:00	八王子ケアラズカフェ「わたぼうし」 (八王子市子安町4-10-9 西村ビル 2F) JR 八王子駅南口 徒歩3分	「居場所」って何？来た人どうして会話を楽しんでもOK、話さないでただ居るだけでもOK。過ごし方は自由です (マスク着用をお願いします)	ひきこもり家族会「ぶなの会」 	090-8014-7426 (櫻井) 090-6140-1936 (後藤)	参：無料 予約不要 (好きな時に来て好きな時に帰れます)

助成金情報

詳細は、八王子市市民活動支援センターにお問合せいただくか、はちこみねっとのサイトをご覧ください

名称	主催	助成対象	助成金額	締切
ボランティアグループ等が行う事業への助成	公益財団法人太陽生命厚生財団	福祉事業 https://bit.ly/20A4y3p 	事業助成： 1件 10万円～50万円	6/30(水) 必着 郵送のみ
子どもゆめ基金(二次募集)	独立行政法人国立青少年教育振興機構	青少年教育に関する事業を行う民間の団体 	直接お問い合わせください 独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部助成課 電話：0120-579-081 (平日 9:00～17:45) メール： yume@niye.go.jp	6/15(火) 消印有効(郵送) 6/29(火) 17時(電子申請)

はちこみねっとからのお知らせ

新型コロナウイルス感染症に関して、市民活動団体への助成や団体の支援活動などをまとめました。支援したい、または、支援が必要だという団体さんは情報をお寄せください。

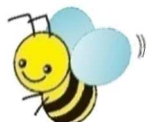
<https://bit.ly/3nX4XZs>



八王子コミュニティ活動応援サイト「はちこみねっと」



<http://hachikomi.genki365.net/>
※右のQRコードからもアクセスできます。



SUPPORT802
バックナンバーはこちらから



広報紙 SUPPORT802

■発行日：奇数月1日(年6回発行)

■発行：八王子市市民活動支援センター

■発行部数：5,000部/回

■配布場所：八王子市役所、市内各市民センター、市民部事務所、

図書館、体育館、子ども家庭支援センター、

その他

